

2024 安全報告書

令和6年度版

(2024.5月～2025.4月)

(蔵王温泉スキー場上の台ゲレンデ)

特殊索道

単線自動循環式	蔵王温泉第2クワッドリフト
	蔵王温泉第4クワッドリフト
単線固定循環式	蔵王温泉第1ペアリフト
	蔵王温泉第3パラレルリフトA線 (通年営業)
	蔵王温泉第3パラレルリフトB線
	蔵王国体ペアリフト
	蔵王温泉見返りペアリフト
	竜山ペアリフトA、B線

蔵王温泉観光株式会社

1. 利用者の皆様へ

日頃より、山形蔵王温泉スキー場をご利用いただきありがとうございます。蔵王温泉スキー場は、単独のスキー場としては国内最大の面積を誇り、多様なコースとアイスモンスターや1900年以上にも及ぶ歴史ある温泉で国内外のスキーヤー、ボーダーを魅了しております。

弊社は1951年昭和26年12月25日付 木柱・2人乗りリフト誕生より約70年蔵王上の台ゲレンデにて索道の安全輸送を提供致しております。

弊社の索道事業に対して日頃のご利用とご理解、誠に有難うございます。

令和3年度に蔵王温泉第1ペアリフトをリニューアル営業、令和4年度はジュピア内をリニューアルし営業をスタート致しました。

近年はインバウンドのお客様が増加したことを受けましてレンタルコーナーの品数補強、スタッフ増員等行っております。

弊社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めて今まで以上に安全でより良いゲレンデの提供を務めてまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

蔵王温泉観光株式会社

代表取締役社長 岡崎 彌平治

2. 基本方針と安全目標

1. 基本方針

当社の経営理念の第一は、輸送の安全確保です。

- ① 一致団結して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解すると共にこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置を取ります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速・正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

2. 安全目標

- ① 安全の確保は輸送の生命である。
- ② 規定遵守は、安全の基礎である。
- ③ 執務の厳守は、安全の要件である。

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

1. 索道運転事故

令和6年度における索道運転事故（人身事故）が1件発生しております

す。

2. 災害(地震や暴風雨、豪雪など)

令和6年度災害による運行停止はありませんでした。

※強風時に安全確保の為、運行を一時停止、運休する日はありました。

(3) インシデント (事故の兆候)

令和6年度、国土交通省への報告はありません。

(4) 行政指導等

令和6年度、国土交通省への報告は1件です。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材育成

当社では、索道係員の業務に必要な知識技能を保有させる為、講習、研修会に積極的に参加して索道技術の向上や知識の習得に努めています。

講習名	実施日	参加人数
索道技術研修会 (山形地区部会)	R6 7/1~2	1名
索道技術管理員等講習会 (東北索道協会)	R6 9/3~4	1名
ピステンテクニカルセミナー	R6 9/5~6	2名
索道技術管理者研修会 (東北索道協会)	R6 9/19~20	1名
スプリングバレー (グリーン季アトラクション) 視察	R6 9/18~25	13名
管理・監督者リーダー研修会	R6 10/15	2名
雪上車運転及び救急法講習会	R6 12/2~3	1名
食品衛生講習会	R6 12/19	4名
冬季社員教育	R6 12/17	31名

(2) 緊急時対応訓練

毎年、冬季シーズン営業開始前に社員、冬季社員合同にて救助訓練、予備原動取扱訓練等を実施しております。



(3) 安全確保ための設備投資及び対策

当社では、安全の維持・向上のため整備・工事等を実施しております。

- ・蔵王温泉第1ペアリフト
握索装置部品点検整備
- ・蔵王温泉第2クワッドリフト
山麓押送用ベルト交換
山頂押送タイヤ軸ベアリング交換整備
減速機オイル交換
握索機定期OH30台
- ・蔵王温泉第3パラレルリフトAB線
握索装置部品点検整備
- ・蔵王温泉第4クワッドリフト
握索機定期OH15台
山麓山頂押送タイヤ交換
山頂押送ギヤケースOH
- ・蔵王国体ペアリフト
握索装置部品点検整備
- ・蔵王温泉見返ペアリフト
減速機オイル交換

握索装置部品点検整備

- ・竜山ペアリフトB線
油圧緊張オイル交換
握索装置部品点検整備

5. 当社の安全管理体制

輸送の安全確保のため、安全管理体制の最終的な責任者を社長とし、以下安全統括管理者、索道技術管理者及び索道技術管理員を配置しております。

各々役割・責任・権限は下記の通りです。

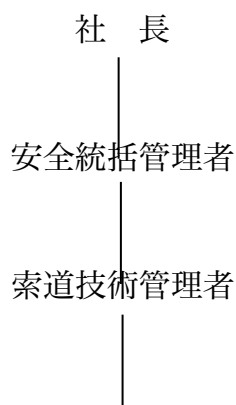
(1) 役割・責任・権限

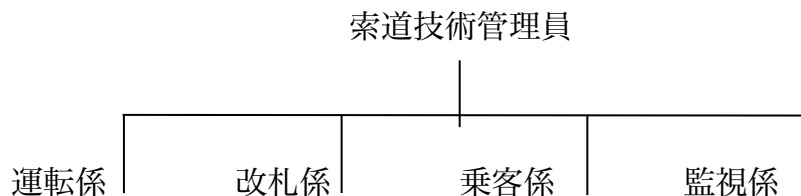
取締役社長 : 輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。

安全統括管理者 : 索道事業の安全輸送確保に関する業務を統括する。

索道技術管理者 : 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の維持管理、その他技術上の事項に関する業務を統括管理する。

索道技術管理員 : 索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。





6. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) 「お客様の声を形にしていきます」

より安全で信頼される索道を作るため、皆様からお寄せいただいた声を役立てていきます。

(2) リフト乗車時の注意事項

- ① 乗降りに不慣れなお客様は、遠慮なく係員に申し出てください。
- ② 空き缶・煙草の吸殻・その他の物品を、乗っているリフト等から投げ捨てないでください。
- ③ 搬器から飛び降りたり、搬器を揺らさないでください。
- ④ 衣類・携帯品・髪の毛等が施設に巻き付かないようご注意ください。
- ⑤ 改札後は係員の指示に従ってください。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒990-2301

山形県山形市蔵王温泉18番地

蔵王温泉観光株式会社 お客様係

T E L 023-694-9417 F A X 023-694-9416

E-mail mail@jupeer-zao.com